

2022年度（第76回）研究発表大会プログラム

日時：2022年6月4日（土）9：20～15：30（受付は9：00開始）

会場：立正大学熊谷キャンパス アカデミックキューブ2階

A205 教室（発表会場）・A204 教室（会員控室）

注意点：

- ・口頭発表と優秀卒業研究発表は、交代の時間を含めて発表15分と質疑応答5分、全体の持ち時間は20分です。*は発表者。
- ・ポスター、地理写真、地域連携事業展示の掲示時間は9：00～15：30です。掲示場所は当日会場にて確認してください。

プログラム：

《開会挨拶》

《第1セッション（口頭発表）》

- A1 9：20～9：40 深瀬浩三（立正大）：静岡県袋井市におけるメロン産地の維持要因
- A2 9：40～10：00 吉田国光（立正大）：地域で維持されるモノ・コトと保全・保護制度をめぐる研究に向けた覚書
- A3 10：00～10：20 遊佐順和（札幌国際大）：持続可能なナレッジツーリズムによる関係人口、地域力創出に関する研究
- A4 10：20～10：40 初澤敏生（福島大）：東日本大震災後の被災3県の水産加工業の変化

《第2セッション（2021年度優秀卒業研究発表、地理学科・立正地理学振興会共催）》

- A5 10：40～11：00 浅名悠斗（富山県農業共済組合砺波地域農業共済センター）：富山市における中心商店街の変容－総曲輪通りと中央通りを事例として－
- A6 11：00～11：20 石井大誠（(株)川崎鶴見臨港バス）：鶴見川水系における水文特性と汚濁負荷量推定

《第3セッション（立正地理学振興会、立正地理学会による表彰式）》

- 11：20～11：40 優秀卒業研究賞トロフィー授与
学会功労者挨拶表彰
名誉会員紹介

《第4セッション（ポスター発表の内容紹介）》 11：50～12：00

※各発表1分程度で紹介して下さい。ポスター発表のコアタイムは13：00～14：00とします。

- P1 河野 忠*（立正大）・町田由佳矢・船生泰寛（立正大・院修了生）：2020年7月に出現した静岡県水窪町「幻の池」の水位記録と湖盆形態
- P2 島津 弘（立正大）中国、河西回廊および莫高窟周辺の地形環境

P3 原 美登里 (立正大) : 熊谷市平戸地区の文化財保存事業

P4 岩谷恭弥 (立正大・院) : 北陸新幹線のルート決定に伴う住民意識の変化

P5 佐藤寛輝 (立正大・院) : 宮城県角田市における中小食品加工業者による原料野菜産地の形成

P6 本多一貴*・三浦海翔 (立正大・学) 山梨県甲府市における農産物直売所の利用特性と流通機能

《昼休み》 12 : 00 ~ 13 : 00

※A204 教室にて、古今書院ほかによる展示・販売の予定 **中止となりました。**

《ポスター発表のコアタイム》 13 : 00 ~ 14 : 00

※立正大学 150 周年記念事業「地球環境科学部 WEEK」中の地域連携事業の展示も行っています。

《第5セッション (口頭発表)》

A7 14 : 00 ~ 14 : 20 鈴木厚志* (立正大)・崎浜 靖 (沖縄国際大) : 近代期宮古島におけるマラリア防遏機構とその地域的变化

A8 14 : 20 ~ 14 : 40 大山正雄 (日本温泉協会) : 箱根の温泉黒たまご

A9 14 : 40 ~ 15 : 00 大石雅之*・山村卓也・山岸 遼・鈴木康太・越谷英樹・作野 魁 (気象庁仙台管区気象台)・岡田 純 (気象庁気象研究所) : 活動的火山の火口における微地形形成とその成因 - 福島県吾妻山を例に -

A10 15 : 00 ~ 15 : 20 戸田真夏 (青山学院大・非) : 富山湾の「おいしい宝石」と地形・地質との関係

《閉会挨拶》

《地理写真展示》

※掲示時間は 9 : 00 ~ 15 : 30、掲示場所は会場の掲示をご覧ください。

G1 奥村敦至 (立正大・学) : 行田市中心部の失われた水辺空間

G2 張 思遠 (立正大・院) : 美しい丹霞地形をたどる : 中国陝西省靖辺県

G3 佐藤颯哉*・黒田将希・三枝史弥・酒見健太郎 (立正大・学) : 秩父鉄道沿線地域における地域資源発掘

G4 上田研太郎*・佐藤寛輝・岩谷恭弥 (立正大・院)・鈴木厚志 (立正大) : 水戸学と水戸城郭

G5 岩谷恭弥*・佐藤寛輝・上田研太郎 (立正大・院)・鈴木厚志 (立正大) : 品川の記憶と再開発

G6 佐藤寛輝*・上田研太郎・岩谷恭弥 (立正大・院)・鈴木厚志 (立正大) : 靖国通り : 歴史・出版・教育

G7 岩谷恭弥 (立正大・院) : 北陸新幹線金沢敦賀間における工事の変遷 ver. 2022

G8 上田研太郎*・岩谷恭弥 (立正大・院) : 東京九州フェリー : 九州と関東を結ぶ新しい交通

G9 佐藤寛輝 (立正大・院) : 宮城県蔵王町七日原扇状地における農業的土地利用

G10 佐藤寛輝*・岩谷恭弥・張 思遠 (立正大・院)・本多一貴・金田幸樹 (立正大・学)・小林知寛 (東京技工) : 台地と丘陵をたどる ~2022 年度第 1 回地理院生会自主巡検~

※ 懇親会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として実施いたしません。ご理解下さい。

※ 総会書面決議の結果は学会 HP と学会ニュースにおいて報告予定です。